



追加型投信 / 内外 / 株式

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし) 運用状況、運用方針および今後の見通しについて

ファンド情報提供資料 / データ基準日: 2016年8月31日

平素より、「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
本レポートでは、当ファンドの運用状況と、運用方針および今後の見通しについてご説明させていただきます。

当ファンドの特色

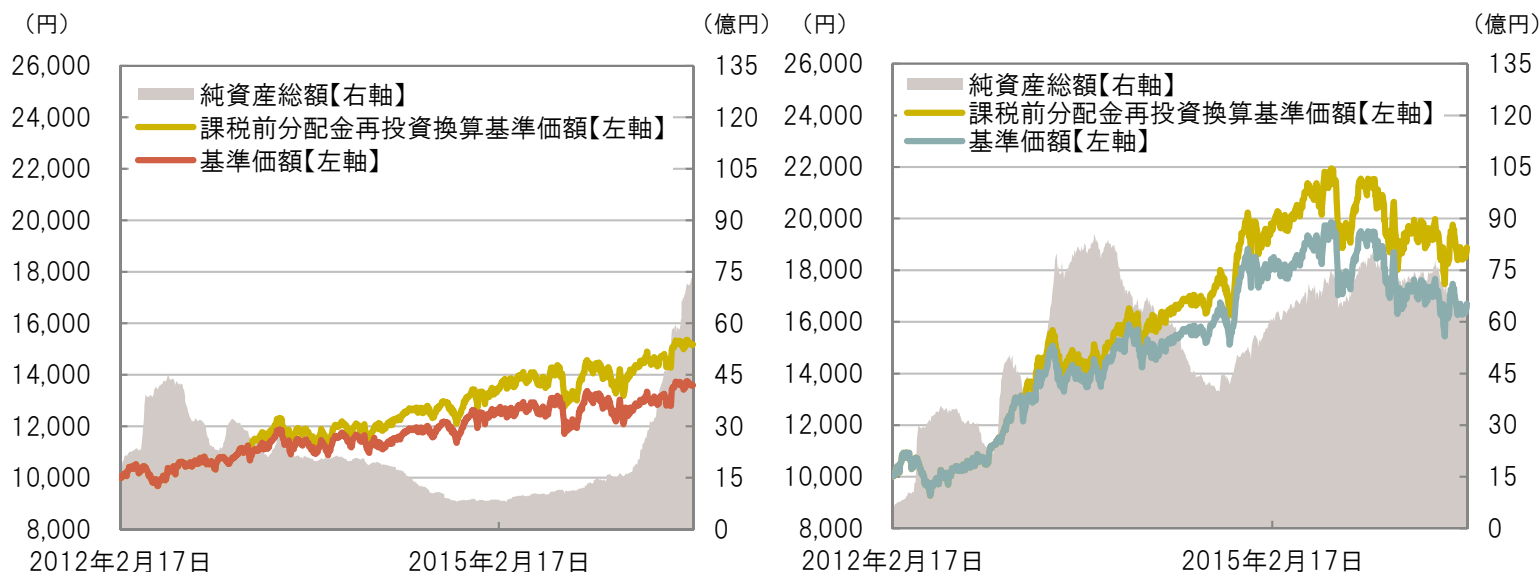
- 1 世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
当ファンドにおいて「プレミアム企業」とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。
- 2 銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。
- 3 モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。
- 4 為替ヘッジの有無により、「為替ヘッジあり」および「為替ヘッジなし」があります。
- 5 年1回決算を行い、収益の分配を行います。
将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

* 資金動向や市況動向、残存信託期間等の事情によっては、上記1、2、4のような運用ができない場合があります。

当ファンドの基準価額等(期間:2012年2月17日(設定日)~2016年8月31日)

為替ヘッジあり

為替ヘッジなし



※基準価額(1万口あたり)は、信託報酬控除後のものです。

※「課税前分配金再投資換算基準価額」は、当ファンドの公表している基準価額に各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、三菱UFJ国際投信が公表している基準価額とは異なります。

■ 上記は過去の実績・状況です。本見通しなし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし)

ポートフォリオの状況(2016年7月29日時点)

種類別比率

内訳	比率(%)	
	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
株式	90.0%	93.1%
現金等	10.0%	6.9%
合計	100.0%	100.0%

種類別比率

内訳	比率(%)	
	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
生活必需品	50.7%	52.4%
情報技術	21.6%	22.3%
一般消費財・サービス	13.2%	13.7%
資本財・サービス	1.9%	1.9%
素材	1.8%	1.9%
金融	0.9%	1.0%
合計	90.0%	93.1%

国・地域別比率

内訳	比率(%)	
	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
米国	46.8%	48.4%
英国	23.9%	24.7%
フランス	9.1%	9.4%
スイス	4.5%	4.6%
ドイツ	2.6%	2.7%
日本	2.2%	2.3%
イタリア	1.0%	1.0%
合計	90.0%	93.1%

組入上位10銘柄

(組入銘柄数:29銘柄)

銘柄名	国・地域名	業種名	比率(%)	
			為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
1 レキットベンキーザー	英国	生活必需品	7.2%	7.4%
2 プリティッシュ・アメリカン・タバコ	英国	生活必需品	6.9%	7.2%
3 マイクロソフト	米国	情報技術	6.9%	7.1%
4 ロレアル	フランス	生活必需品	6.4%	6.7%
5 ユニリーバ	英国	生活必需品	5.8%	6.0%
6 ネスレ	スイス	生活必需品	4.5%	4.6%
7 アルトリア・グループ	米国	生活必需品	4.3%	4.4%
8 レイノルズ・アメリカン	米国	生活必需品	4.1%	4.2%
9 アクセンチュア	米国	情報技術	4.1%	4.2%
10 ビザ	米国	情報技術	3.9%	4.1%

※上記は個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

通貨別株式比率

内訳	比率(%)	
	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
米ドル建	46.8%	48.4%
英ポンド建	23.1%	23.8%
ユーロ建	13.5%	14.0%
スイス・フラン建	4.5%	4.6%
円建	2.2%	2.3%
合計	90.0%	93.1%

※各数値は表示桁数未満で四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

※比率とは、当ファンドの純資産に対する比率であり、マザーファンドの組入比率に基づき算出した実質ベースの数値で表記しています。

※当ファンドの業種はGICS(世界産業分類基準)のセクター分類に基づいています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

※当ファンドの国・地域はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドが定義した区分に基づいています。

※現金等には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

運用方針および今後の見通し

当ファンドでは、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」へ投資いたします。これらの企業の業績は景気の好不況に過度に左右されることなく安定しており、結果として株価の変動性(ボラティリティ)が低いという特徴があります。2016年は前年末の米国利上げに続いて、原油価格の急落からの回復、日銀によるマイナス金利政策の導入、英国の国民投票によるEU離脱決定などに加え、各地で発生したテロ事件等による地政学リスクの高まりなど、決して「静かな年」とはいえない状況にあります。

このように不確実要素が高まる中であっても、米国株式市場において史上最高値を更新するなど各国の株式は堅調な値動きを見せていますが、株式市場全体の低ボラティリティかつ堅調な推移を支えている最大の要因は各国中央銀行による緩和的な金融政策だと考えられます。今秋の米国大統領選挙をはじめ、その後に続く世界各国で行われる選挙などの重要な政治的イベントや地政学リスクの高まりを鑑みると、このまま低ボラティリティの環境が継続するとは考えにくく、今後はボラティリティの高まりに注意が必要になると考えます。

プレミアム企業は前述の通り、①企業業績が安定していること、②株価のボラティリティ自体に大きな変化が見られないこと、などから引き続き魅力的な投資対象であると考えています。持続的な株価の上昇に加え、株式市場の下落局面において下値抵抗力を期待できるプレミアム企業に投資することが、今後のイベント等への備えになると考えています。

(出所)モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドのコメントより三菱UFJ国際投信作成

■上記は過去の実績・状況です。本見通しなしい分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし)

(ご参考)MSIMロンドン インターナショナル・エクイティ運用チームの運用実績

下記は、モルガン・スタンレー・グローバル・フランチャイズ・コンポジット(以下、グローバル・フランチャイズ)のパフォーマンスを表しています。グローバル・フランチャイズは、「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(以下、マザーファンド)」の再委託先であるモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドによって運用され、当ファンドが投資するマザーファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、**当ファンドの運用実績とは直接的な関係はありません。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。**

*コンポジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。

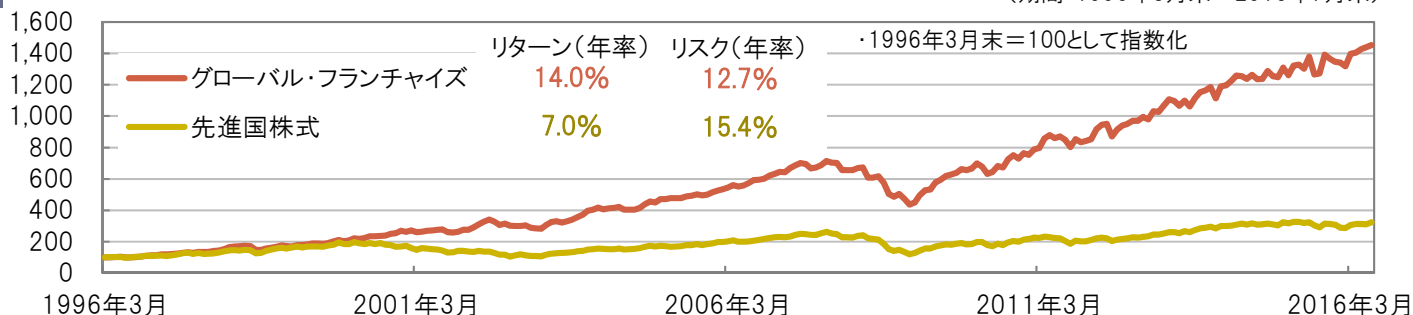
当ファンドが投資するマザーファンドと同様の運用プロセスを用いているグローバル・フランチャイズは、先進国株式の運用実績と比較すると相対的に低いリスクで、高いリターンとなっています。

年次リターンでは、グローバル・フランチャイズは2008年リーマン・ショック時の株価下落局面を除き、プラスのリターンとなっています。

先進国株式がマイナスのリターンとなっている年でも、グローバル・フランチャイズは2008年を含め超過リターンを収めていることがわかります。また、上昇相場・下落相場における運用実績をみると、下落相場においてより強みを発揮したことがわかります。

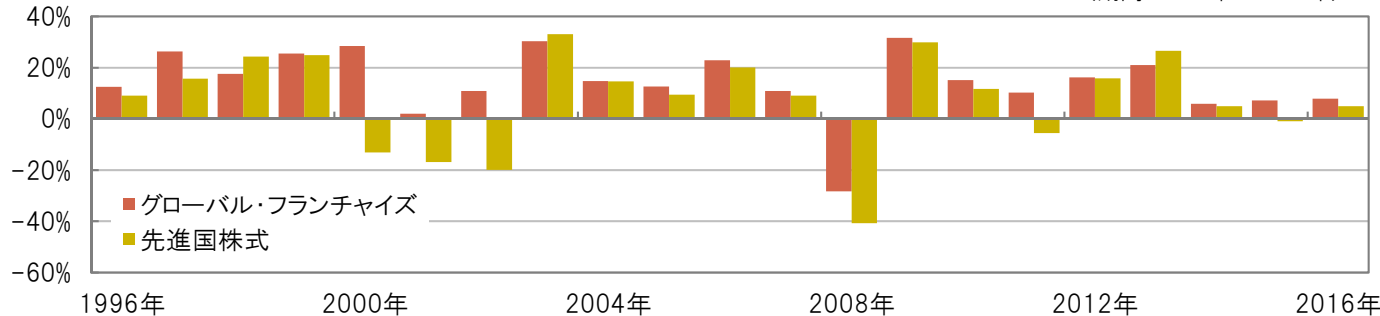
運用実績(米ドル建て)

(期間:1996年3月末~2016年7月末)



年次リターン(米ドル建て)

(期間:1996年~2016年)



上昇相場・下落相場における運用実績(米ドル建て)

	先進国株式を上回った月数 (A)	先進国株式を下回った月数	合計月数 (B)	(A/B)	グローバル・フランチャイズ 平均リターン	先進国株式 平均リターン	超過リターン
上昇相場	60	86	146	41%	2.95%	3.39%	-0.44%
下落相場	78	20	98	80%	-1.48%	-3.60%	2.12%

・1996年は1996年3月~1996年12月、2016年は2016年1月~2016年7月のリターンを掲載しています。

・上昇相場は先進国株式が上昇した月、下落相場は先進国株式が下落した月を示しています。

(出所)Bloomberg、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

※先進国株式指数はMSCI ワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)を使用しています。

※MSCI ワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)は、当ファンドのベンチマークではありません。

※モルガン・スタンレー・グローバル・フランチャイズ・コンポジットは、運用報酬控除前、米ドル建て、配当および収益再投資のパフォーマンスを表しています。

※運用実績(米ドル建て)におけるリターンは月次リターンの平均値を年率換算(月次リターンの平均値×12)したものであり、リスクは月次リターンの標準偏差を年率換算したものです。

■上記は過去の実績・状況です。本見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。



モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし) 追加型投信／内外／株式

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)を「為替ヘッジあり」およびモルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)を「為替ヘッジなし」、ならびにこれらを総称して「当ファンド」ということがあります。また、各々を「各ファンド」ということがあります。

ファンドの目的・特色

【目的】

信託財産の成長を目指して運用を行います。

【特色】

1 世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

- ◆当ファンドにおいて「プレミアム企業」とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフロー*を増大させることが期待される企業を指します。
- *フリー・キャッシュフローとは、「事業活動による儲け」から「必要な投資」を差し引いて、手元の現金がいくら増えたかを表す指標です。営業キャッシュフロー(事業活動により得られた現金収入とそれに要する現金支出との差額)と投資キャッシュフロー(事業を維持・拡大するために必要な投資活動による現金収支)を合算して求めます。

2 銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチ*を行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。

- *投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。
- ◆原則として、厳選した20~40銘柄に集中投資を行います。

3 モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。

- ◆モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド(所在地:英国ロンドン)は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの欧州拠点です。

4 為替ヘッジの有無により、「為替ヘッジあり」および「為替ヘッジなし」があります。

- ◆「為替ヘッジあり」は、外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。為替ヘッジに関しては、委託会社が行います。
※一部の通貨については、その通貨との相関が高いと判断される代替通貨により対円で為替ヘッジを行うことがあります。
- ◆「為替ヘッジなし」は、外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

資金動向や市況動向、残存信託期間等の事情によっては、特色1、特色2、特色4のような運用ができない場合があります。

5 年1回決算を行い、収益の分配を行います。

- ◆毎年2月23日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

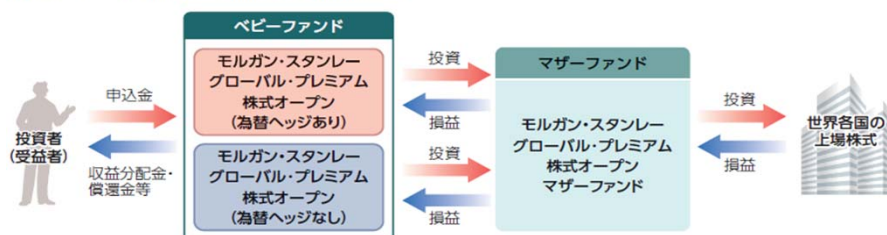
- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

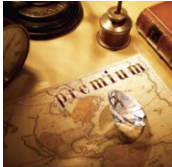
■ ファンドのしくみ

ファミリーファンド方式により運用を行います。

ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。



※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。



モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし) 追加型投信／内外／株式

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。
 ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

●株価変動リスク

株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。

●為替変動リスク

<為替ヘッジあり>

投資する株式は、世界各国の現地通貨建等のものとなります。外貨建資産に投資を行いますので、為替変動リスクが生じます。これらの外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、設定や解約等の資金動向、為替ヘッジのタイミングおよび範囲、ならびに市況動向等の要因により、完全に為替変動リスクを排除することはできません。また、円金利がヘッジ対象となる外貨建資産の通貨の金利より低い場合、円とヘッジ対象となる外貨建資産の通貨との金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分のヘッジコストとならない場合があります。

<為替ヘッジなし>

投資する株式は、世界各国の現地通貨建等のものとなります。外貨建資産に投資を行いますので、投資している有価証券の発行通貨が円に対して強く(円安に)なれば当ファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なれば当ファンドの基準価額の下落要因となります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。
 くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■その他の留意点

- ・投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- ・受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

委託会社およびファンドの関係法人

■委託会社 三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

■販売会社 販売会社の照会先は以下の通りです。
 三菱UFJ国際投信株式会社
 TEL 0120-151034(フリーダイヤル)
 受付時間/営業日の9:00~17:00
 ホームページ <http://www.am.mufig.jp/>

■受託会社 株式会社りそな銀行
 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

■投資顧問会社 モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド



モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし) 追加型投信/内外/株式

手続・手数料等 お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■お申込みメモ

【購入時】

- 購入単位 販売会社が定める単位
- 購入価額 販売会社にご確認ください。
購入申込受付日の翌営業日の基準価額
※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。

【換金時】

- 換金単位 販売会社が定める単位
- 換金価額 販売会社にご確認ください。
- 換金代金 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。

【申込について】

- 申込不可日 ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行、ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行のいずれかが休業日の場合には、購入・換金はできません。
- 換金制限 各ファンドの資金管理を円滑に行うため、原則として1日1件5億円を超える換金はできません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。

【その他】

- 信託期間 2022年2月23日まで(2012年2月17日設定)
- 繰上償還 以下の場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
・各ファンドの受益権の総口数が、当初設定時の10分の1または10億口を下回るようになった場合
・各ファンドを償還させることが受益者のため有利であると認めるとき
・やむを得ない事情が発生したとき
- 決算日 毎年2月23日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 年1回の決算時に分配を行います。
販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
- 課税関係 課税上は、株式投資信託として取扱われます。
公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。
配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.24%(税抜 3.00%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	各ファンドの日々の純資産総額に対して、 年率1.944%(税抜 年率1.800%) をかけた額
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券等の売買・保管、信託事務にかかる諸費用等についても各ファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。



モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし) 追加型投信／内外／株式

販売会社 お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第180号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社福井銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社三菱東京UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
岡崎信用金庫(為替ヘッジなしのみお取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第30号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第44号	○			

※今後、上記の販売会社については変更となる場合があります。



モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし) 追加型投信／内外／株式

【本資料で使用している指数について】

先進国株式:MSCI ワールド インデックス

MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

GICS(世界産業分類基準)

Global Industry Classification Standard (“GICS”)は、MSCI Inc.(以下MSCI)とThe McGraw-Hill Companies, Inc.の事業部門であるStandard & Poor’s(以下S&P)が開発し、両者が排他的知的財産および商標を有しています。三菱UFJ国際投信(株)は、許諾を得て利用しています。GICSおよびGICSの基準および分類作業に関連したMSCIおよびS&Pとその関係会社あるいは第三者(以下、MSCIおよびS&Pとその関係会社)は、当該基準および分類(あるいは、これらを利用した結果)に関して何らかの保証や表明を行うものではありません。また、MSCIおよびS&Pとその関係会社は、GICSの独創性、正確性、完全性、販売可能性や特定の利用目的に対する適合性等を保証するものではありません。上記のいずれをも制限することなく、いかなる場合においても、MSCIおよびS&Pとその関係会社は、損害が発生する可能性を知悉していた場合であっても、直接的な損害、間接的な損害、特別な損害、懲罰的損害賠償、結果としての損害、その他の損害(逸失利益を含む)について、その責を負いません。

本資料に関してご留意頂きたい事項

本資料は三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託の取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。なお、以下の点にもご留意ください。

- 投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行等の登録金融機関でご購入頂いた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。